

## 特定健診等の血液検査でわかる項目

	正常域	保健指導	受診勧奨
中性脂肪 (mg/dl)	空腹時150未満 随時175未満	150～299 175～299	300以上
	増えすぎると善玉コレステロールが減ります。 数値が高い場合、動脈硬化や脂肪肝の原因になります。		
HDL コレステロール (mg/dl)	40以上	35～39	34以下
	善玉コレステロールと言われ動脈硬化を予防します。 数値が低い場合、動脈硬化がすすみます。		
LDL コレステロール または Non-HDL コレステロール (mg/dl)	LDL:120未満	120～139	140以上
	Non-HDL:150未満	150～169	170以上
	数値が高い場合、動脈硬化がすすみます。 ※中性脂肪が400mg/dl以上または食後採血の場合 は、LDLコレステロールをNon-HDLコレステ ロールに代えて検査する場合があります。		
AST(GOT) ALT(GPT) (U/L)	31未満	31～50	51以上
	肝臓に多くある酵素で、肝臓に障害があ ると血液中に増えてきます。 数値が高い場合、肝障害、脂肪肝などが疑われます。		
γ-GT (γ-GTP) (U/L)	51未満	51～100	101以上
	肝臓に多くある酵素で、肝臓に障害があ ると血液中に増えてきます。 数値が高い場合、アルコール性肝障害、薬物性肝障 害、胆道疾患などが疑われます。		

	正常域	保健指導	受診勧奨
eGFR (血清クレアチニン から算出) (ml/min/1.73m <sup>2</sup> )	60以上		60未満
	数値が低い場合、慢性腎臓病が疑われます。		
血清尿酸 (mg/dl)	7.0以下	7.1~7.9	8.0以上
	数値が高い場合、 痛風や尿路結石などを引き起こします。		
空腹時(随時)血糖 (mg/dl)	100未満	100~125	126以上
	食事からとった糖質がブドウ糖となって血液 中に出てきたものが血糖です。 数値が高い場合、糖尿病などが疑われます。		
HbA1c (%)	NGSP値:5.6未満	5.6~6.4	6.5以上
	過去1~2か月間の血糖の状態がわかります。 数値が高い場合、糖尿病などが疑われます。		
詳細な健診の項目 (医師が必要と判断した場合に実施)			
貧血 血色素量 (ヘモグロビン) (g/dl)	男性13.1~17.9	12.1~13.0	12.0以下または 18.0以上
	女性12.1~15.9	11.1~12.0	11.0以下または 16.0以上
	赤血球数、ヘモグロビン量、ヘマトクリット値など から貧血の状態をみます。		